

4. 居場所の外側と連携するヒント - 行事を通して子どもの癒しと成長を促す(1)

特定非営利活動法人ビーンズふくしま

仮設住宅に移ってからの1年間は、さまざまな団体やボランティアによる行事・イベントが行われ、集会所の前の掲示板はお知らせのチラシでいっぱいでした。しかし、3年も経つと、一過性の行事・イベントはすっかり少なくなっています。

私達の取組の中で大事にしてきたのは、日常性の中での関わりです。その関わりや繋がりの延長の中で、共に楽しんだり、季節の節目を感じられるような取組を、子ども・父母・住民と一緒にやりながら行ってきました。

本来であれば地域や子ども会が担い手として行われていた取組み。その代替りとなるものや、従来の取組みの再生につながるようなものを実施しています。



ハワイアンズ遠足

浪江や富岡の子どもに、震災前から馴染み深かった施設に夏休みのお楽しみ遠足を実施。多数の保護者にも引率協力いただきました。



もちつくどー

12月・1月にかけて、各仮設住宅で餅つきを実施。子どもも大人も一緒になって協力します。おじいちゃん・おばあちゃんの大活躍の場でもあります。

4. 居場所の外側と連携するヒント - 行事を通して子どもの癒しと成長を促す(2)

特定非営利活動法人ビーンズふくしま



「ウルトラマンが来るよー！」

企業(円谷プロ)の協力でウルトラマンが仮設住宅に来てくれました。子どもたちとの心温まる交流で一緒に楽しく遊びました。



「熊耳夏祭り 復興盆踊り」

富岡町小浜地区の盆踊りが、避難先の三春町の仮設住宅で復活。自治会から、子どもブースの協力要請を受け、青年会と共同してブースを受け持ちました。翌年には中学生が中心となって太鼓の練習も始まりました。



デイキャンプin郡山自然の家

再開した富岡町の学校では体育館がなく、子ども達の運動不足の懸念がありました。思いっきり体を動かしたり、友達と関わる機会をつくろうとデイキャンプを企画。チーム野外炊飯・グルメコンテスト(カレー作り)や、交流レクリエーションとしてドッジビー、チーム対抗ミッション宝探し、室内アスレチック運動等を行いました。